



夢・挑戦・感動を大切にする教育

霞西中だより

第 9 号

令和2年9月1日 発行 校長 堤 貴幸

〈学校教育目標〉

心身ともに健康で
自ら行動する生徒の育成

〈目指す生徒像〉

- 夢を持ち自ら学ぶ生徒(自主)
- 心豊かで思いやりのある生徒(敬愛)
- 心身ともに健康な生徒(錬磨)

間もなく通知表をお渡しします ～通知表の有効な活用法～

すでにお知らせしてあります通りに、今週の金曜日（4日）に第1学期の通知表をお渡しします。

通知表は生徒にとっても保護者にとっても大変気になる存在だと思います。通知表には、各教科の「観点別評価」（A・B・C）と「評定」（5・4・3・2・1）、「学校での生活の様子」（○・無印）、「総合的な学習の時間の評価」（所見）、「特別活動の記録」（係・委員会活動、学校行事・部活動・表彰等の様子）、「出欠の記録」、「担任所見」があり、生徒の学校生活の様子を様々な観点から総合的に記録した書類です。

通知表が渡されると、ついつい各教科の評定（5・4・3・2・1）に目が行き、その結果が下がっていたりすると親としてガミガミ言ったりすることはないでしょうか？ 評定だけを見るというのは、子どもの一面しか見ていないことになります。また、評定が下がると一番ショックを受けるのは生徒自身です。にもかかわらずそれに追い打ちをかけるように叱れば、子どもの自己肯定感を潰してしまいやる気を奪ってしまいます。本来、通知表は「子どもに変わろうとするきっかけを作り、子どもをやる気にさせる」ためのものです。従って、もし評定が下がっていたとしても今後の「伸びしろ」と捉え、一方的に叱るのではなく「何が悪かったのか」「どうやって良くしていくか」を一緒に考えるようにしてください。逆に評定が上がった場合は、当然にその努力を認め、その要因を考えさせて、別の教科でも活かせるような助言をお願いいたします。

また、「担任所見」は、今後の生徒の意欲を喚起させるために、それまでの頑張りと努力の様子を中心に記述するようにしています。担任のその意を酌んでいただき、所見に関することについて親子で話題にして具体的に褒めてあげたり、「学校での様子」の欄に○が付いている項目についてもその頑張りを認めてあげて、2学期以降の学習や生活が更に向上できるように支援をお願いいたします。

通知表を単に学校から家庭への生徒の様子を知らせる資料として見るのではなく、「子どもを伸ばす材料」として活用願います。

生徒アンケート結果をお知らせします

令和2年度1学期 生活・学習に関する生徒アンケート結果
【回答者数 1年:120名、2年:104名、3年:88名】

番号	質問項目	回答選択肢	%
①	授業や活動の始まる時間を守ることができる	当てはまる	78.1
		だいたい当てはまる	21.9
		あまり当てはまらない	0
		当てはまらない	0
②	時と場合に応じた気持ちよいあいさつをすることができる	当てはまる	63.5
		だいたい当てはまる	32.6
		あまり当てはまらない	3.6
		当てはまらない	0.3
③	困ったことや問題が起きた時に、先生はすぐに相談に乗ったり、対応してくれる	当てはまる	67.9
		だいたい当てはまる	28.3
		あまり当てはまらない	3.5
		当てはまらない	0.3
④	掃除の時間に当番の場所を進んできれいにしようと取り組んでいる	当てはまる	69.9
		だいたい当てはまる	29.1
		あまり当てはまらない	0.7
		当てはまらない	0.3
⑤	授業中におしゃべりをしたり、関係のないことをしたり、居眠りをしたりせず、落ち着いて授業を受けている	当てはまる	51.3
		だいたい当てはまる	39.1
		あまり当てはまらない	7.4
		当てはまらない	2.2
⑥	友達の良いところを言ったり、仲間はすれにしたりするなど、人がいやがるようなことをしないようにしている	当てはまる	67.1
		だいたい当てはまる	26.4
		あまり当てはまらない	4.2
		当てはまらない	2.3
⑦	自分には良いところがある	当てはまる	31.1
		だいたい当てはまる	38.8
		あまり当てはまらない	18.3
		当てはまらない	11.8
⑧	将来の夢や目標を持っている	当てはまる	50.6
		だいたい当てはまる	25.0
		あまり当てはまらない	16.1
		当てはまらない	8.3
⑨	授業で先生は分かりやすく教えてくれている	当てはまる	51.3
		だいたい当てはまる	43.6
		あまり当てはまらない	4.8
		当てはまらない	0.3

1学期末に全校生徒に「生活・学習に関するアンケート」を実施し、その結果が上記の通りです。

全体的に見て、本校生徒が生活面、学習面で頑張っている様子がおわかりいただけると思います。

ただ、質問項目⑦「自分には良いところがある」、⑧「将来の夢や目標を持っている」の結果に課題が見えます。本校の生徒は、自分に自信がなく自尊心を持てていないことが見て取れます。そして、それ故に夢や目標が持てない状況にあることが想像できます。自信や自尊心が無ければ何事にも逃げ腰になり、物事に意欲的に取り組むことはできません。また、夢や希望は自分を成長させるための原動力です。これまでも本校は「夢・挑戦・感動を大切にする教育」を推進し、「褒める指導」を通して自尊心の育成を目指してまいりましたが、まだ十分でないことが今回のアンケート結果から明らかになりました。2学期からはさらに「褒める指導」を全教員で積極的に行ってまいります。

オリ・パラを知ろう！③

オリンピック・パラリンピックの話題の3回目です。今回は、出場選手の皆さんが夢に見る金・銀・銅のメダルについて紹介します。

2・3年生の皆さんは、今年の1月28日に開催した「オリンピックゴールドメダリスト講演会」で講師として来校してくださったアメリカの元陸上競技選手の「DeeDee Trotter」さんのことは、よく覚えていると思います。あの講演会の際に、多くの人達がトロッターさんがアテネオリンピックとロンドンオリンピックの2回のオリンピックで勝ち取った実物の金メダルを持たせていただき、ズッシリと重量感を感じたことでしょう。

東京オリンピック・パラリンピックでも、当然のことながら3位までになった選手達にメダルが授与されるわけですが、今大会のメダルはこれまでの大会のメダルと大きく違い、世界初の試みがされたメダルです。どのようなメダルかというと、メダルの素材がなんと、使用済みの小型家電等から集められたリサイクル金属、つまり、リサイクル率が100%のメダルなのです。2017年4月1日から2019年3月31日の2年間かけて一般から携帯電話やデジタルカメラなど不要になった小型家電を回収。その数は約621万台にもなったそうです。そこから取れた金属の内訳は、金が約32kg、銀が約3,500kg、銅が約2,200kgで、東京オリ・パラ大会で必要な約5,000個分のメダルに必要な金属量を100%回収できたそうです。

ところで、上記の回収した金属のうち、銀が圧倒的に多いのには理由があります。それは、金メダルというのは実は純金製ではなく、銀製のメダルに6gの金メッキを施すことが決められており、つまり、銀メダルだけでなく金メダルも銀が材料に使われているからです。

また、東京2020パラリンピックのメダルは、パラリンピック史上初の仕様として、目が見えない人でも金、銀、銅のメダルの区別がつく工夫として、メダルの側面に円形のくぼみが施されています。金メダルは1つ、銀メダルは2つ、銅メダルは3つとメダルによってくぼみの数が違うのが特徴です。

9月(September)の行事予定

	行事	下校	部活
1 火	学年朝会	3:45	×
2 水	3年生市学力調査	4:15	×
3 木	歯科検診	3:45	×
4 金	1学期通知表手交	5:30	○
5 土			
6 日			
7 月	5時間授業	3:15	×
8 火		5:30	○
9 水		5:30	○
10 木		5:30	○
11 金	生徒会本部役員選挙公示/内科検診	5:30	○
12 土			
13 日			
14 月	5時間授業	3:15	×
15 火	生徒会本部役員選挙立候補受付(~17日) 3年生いのちの授業/検尿2次1日目	5:30	○
16 水	新人スポーツ大会市予選会抽選会/検尿2次2日目	5:00	○
17 木		5:30	○
18 金		5:30	○
19 土			
20 日			
21 月	敬老の日		
22 火	秋分の日		
23 水	生徒朝会(新人スポーツ大会壮行会)	5:30	○
24 木		5:30	○
25 金	新人スポーツ大会市予選会①	12:00	○
26 土	新人スポーツ大会市予選会②		
27 日			
28 月	新人スポーツ大会市予選会③/6時間授業 3年生身体測定	5:30	○
29 火	新人スポーツ大会市予選会④/2年生身体測定	5:30	○
30 水	1年生心電図検査/生徒会専門委員会	5:30	×

自己流

二〇二〇・九

学校掲示板

将棋の藤井棋聖の活躍がとまらない
彼の自己流にはかの棋士がついていけない
幼いころから将棋を学び
これまで時間をかけ工夫を重ねてきて
飽きることはなかったのだろう
彼のように才能を発揮できないとしても
自分が打ちこめて
続けても飽きないものを持つヒントは
この自己流にあるのではないか
自己流でおし通せるものを見つけると
飽きることなく向上心を持ち続けられる
続けることが苦にならず
かえって楽しみに厚みが増していくのだろう

【元本校職員 ○○○○ 氏 筆】

おめでとうございます

川越市PTA広報紙コンクールにおいて、本校の広報紙が銅賞に入賞しました。審査は、記事の内容の充実度、レイアウトの見やすさ、PTA広報紙としての役割の3つの基準で行われました。

PTA広報委員の皆様は、忙しい中で地道な記事集め、写真撮影、編集会議等で大変であったと思いますが、その苦勞が良い結果に表れ、苦勞が少しは報われたのではないのでしょうか。

誠にありがとうございます。